

柳城

R y u j i o

柳城学院報

第69号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：菊地 伸二

2024年8月1日



名古屋柳城女子大学 第1回 学位記授与式 (2023/3/16) ※名古屋柳城短期大学 (第70回) 合同
右上のモノクロ写真は、名古屋柳城女子短期大学 第1回 卒業式集合写真 (1955/3)

テーマ

“個”の充実と差別化に向けて

CONTENTS

■ 理事長・学長からのメッセージ…… 2	同窓会 (のぞみの会) より	■ 2023 年度会計報告 …………… 13
■ 大学より	後援会より	■ 新任教職員紹介…………… 14
名古屋柳城女子大学…………… 3	チャプレンからのメッセージ…………… 7	■ 退任あいさつ
名古屋柳城短期大学	アドミッションセンターより…………… 8	■ 学院人事…………… 15
キリスト教センター…………… 4	2023 年度就職状況 …………… 9	■ 編集後記
図書館	■ 附属幼稚園より	■ お知らせ
幼児教育研究所	柳城幼稚園…………… 10	マーガレット・ヤング基金…………… 16
教学事務室より…………… 5	豊田幼稚園…………… 11	ご寄付のお願い
■ 法人本部より…………… 6	三好丘聖マーガレット幼稚園…………… 12	

個が輝く学院となるために —2024年度事業計画を中心に

理事長・学長 菊地 伸二



創設者マーガレット・ヤング先生が保姆養成を始めてから今年で126年目を迎えます。現在、柳城には二つの大学と三つの幼稚園があり、少子化の波は例外なく学院にも押し寄せていますが、そこに属する各々の組織が、他とは区別される自らの個性を発揮することで、全体として他の追随を許さない学院として歩いていくことを目指していきます。

学院の精神「愛をもって仕えよ」のもとに、新たな中期計画（2024年度～2028年度）を策定し、各々の設置校は具体的な施策を着実に進めていきます。

2020年に開学した名古屋柳城女子大学こども学部は2023年度に完成年度を迎え、「人びとと共に生き、人びとに仕える」という

精神のもとに、保育者としての専門的知識・実践力を生かし、地域の人びとと共に生き、地域社会に貢献できる人間の育成を目指していきます。新たなカリキュラムを推進し、他大学や併設の名古屋柳城短期大学との違いを明確にします。短大も次年度より新たに長期履修制度（三年制）を立ち上げます。入学者を確保するため、教職員は一丸となって学生募集に取り組みます。教務・学生生活・就職支援の関係部署も相互に連携しながら教育の質保証の可視化に努めます。

理事会体制と教職員との連携強化を図り、令和7年度からの私立学校法の一部改正を見据え、理事・理事会、監事及び評議員・評議員会の権限分配を整理し、「建設的な協働と相互けん制」を確立する体制を構築します。後援会、同窓会、教会、幼稚園、保育園、施設など学院の関係する団体、企業にも広く呼びかける募金活動（受配者寄付金制度）、より優れた保育者養成のための給付型奨学金として「マーガレット・ヤング基金」の充実を図ります。財務状況の改革・改善を図るため、「柳城学院経費削減計画」を推進し、中

長期的な視点から収支構造を見直し、学院の財務状況を安定かつ効率的に運営できる状況にしていくことを最重要課題とします。

大学・短大の教員のFD研修をより活性化するとともに、教職員が協力して活発に語り合えるSD研修を実施します。大学・短大における保護者懇談会の実施、同窓会との連携による卒業生の現況等についての情報収集のほか、2025年度担当校として開催が予定されている「全国保育士養成協議会全国セミナー」の準備を進めていきます。

地域連携では、名古屋市昭和区・名古屋市昭和区社会福祉協議会、東郷町との相互連携による協定締結を踏まえて、地域社会の発展と人材育成に寄与することに努めます。大学間連携では、名古屋学院大学と包括的な連携協定を継続していきます。高大連携では、現在、八つの高校と連携締結をしていますが、とくに今年度は、高大連携校との授業プログラムによる入学後の単位認定など新たな教育の展開など対話を進めていきます。

■ 大学より

名古屋柳城女子大学

Ⅱ 完成年度を終え

新カリキュラムへ

名古屋柳城女子大学は完成年度を終え第1期生を卒業させることができました。設置認可された授業計画すべてを履行することに加えて、この度入学した第5期生からは、新カリキュラムとなりました。保育・幼児教育の最新に対応し、こども家庭庁「子ども・子育て支援新制度」や「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組など多くの内容を取り入れながらの対面授業を4月から1年間通して行います。必ずやより高い質と量の伴う高等教育支援が可能となるものと期待されます。

第2期生の4年生には卒業に向けて、就職支援、卒業論文の指導が行われています。子どもや若者の視点に立ち、子どもにとって最善の利益を第一に考えることを大学でも保育幼児教育の現場でも意識できるようにしたいと思います。ネットを含む地域社会とのつながりも活用してICT利用も進めています。私事ではありますが今年度より幼保連携型認定こども園名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園に兼務園長として在籍し、日々子どもたちとその保護者の方々から多くを学んでおります。

また昨年度入学者数が定員の8割を超え今年度は7割に留まりました。教職員一丸となって広報活動に臨んできたことはもちろんですが、本学の教育プログラムが少しでも認められて来た証と考え

ます。今後とも継続的に、学生個々の興味関心に即して幅広く課題探求のできる環境を整備していく所存です。

私どもの教育や学生支援の妥当性は、学生たちが名古屋柳城女子大学に来て本当に良かったと言いながら卒業式を迎え、卒業後もそれぞれの進路先にて大学生活の効果を実感しながら振り返ることができるかどうかです。完成年度を終え新カリキュラムとなり、これまで以上に教職員ともに力を合わせ、身を引き締めて取り組んでまいりたいと思います。

(学部長 小野 隆)

名古屋柳城短期大学

Ⅱ 名古屋柳城短期大学の取り組み
～伝統と新たな展開～

3年以上続いたコロナ禍では、授業、実習等の教育活動、合同ゼミ、柳城祭等の学校行事も、感染拡大防止のために、休講や中止、変更等、何かと制約が余儀なくされました。学生と教員、学生同士の対面での密な関わりや、子どものいる現場での実習や地域貢献活動も制限される中、子どもや保護者など常に人と直接関わることを仕事とする保育者を育てる養成校として、目指すべき教育をどう実現するか、学生の学びや育ち、有意義な学生生活をどう保障するか、学内で知恵を出し合いながら工夫し対応してきました。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、原則コロナ前と同じ教育活動ができ

るようになり、マスクを外しお互いの表情を見ながら笑顔や言葉を交わせること、以前は当たり前に行っていたことができなくなる経験をしたからこそ、その喜びや教育・保育における大切さを実感できました。

今年度4月に新入生を迎え実施した合同ゼミは、コロナ禍以降学内で規模を小さくして実施していましたが、久々に学外に出かけ全学で運動会を行いました。仲間と協同しての準備や当日の運営・参加の経験は、保育学生として貴重な学びの機会となり、本学の良き伝統である先輩と後輩の交流を深めることができました。また地域貢献活動も、学内外での地域子育て支援活動やイベント等に学生がゼミやサークル等で企画・準備や実施に携わる取り組みを活発に展開、子ども、親子と直接触れ合う機会も増え、保育力を高めることに繋がっています。今後も学生の学びの機会をより充実させていきたいと考えます。

その一つとして来年度より長期履修コース(3年制)がスタートします。保育者を志す学生の多様な学びのニーズに対応しうる新たな体制、環境を整えながら、柳城がこれまで大切にしてきた個々の学生に合わせたきめ細かな教育、質の高い保育者養成に、教職員一丸となって取り組んでまいります。

(学科長 野崎 真琴)

キリスト教センター

|| 合言葉は“いつくしみ〜”

毎週水曜日に行われる礼拝の始まりの挨拶は“いつくしみ〜”です。このスタイルが、学生たちにすっかり定着してきました。

今年度は、本学に新しく柳川真太郎チャプレンをお迎えして、後藤香織チャプレンとお二人の体制で、礼拝をはじめとするキリスト教センターとしての活動を行っていくことになりました。



この写真は、5月の礼拝後のひと時です。楽しそうな雰囲気が伝わりますね。この場に来るならば、学内に友達ができることでしょう。積極的な方にも、内気な方にも平等に神様のいつくしみ（愛とも言いますね）が注がれていますから、「何となく、チャペルに行ってみよう」という気軽な気持ちでお越し下さい。

もう一つ、今年度からできた学生のための部屋を紹介します。1号館1階、ロッカーのすぐ隣に「キリスト教センター」の部屋ができました。電気がついている時は、皆さんのために自由に開放していますので、お入り下さい。チャプレンと喋ってみたい、お昼をここで食べたい、友達と雑談したい…など皆さんの希望を取り入れながら、ご一緒に居場所を作っていきましょう。

(キリスト教センター 柴田 智世)

図書館

|| 図書館入り口特別展示書架

図書館の入り口右側には展示書架があります。そこにはその時々、皆さんに知っていただきたい書籍を展示しています。

この原稿執筆中の6月は、星野富弘氏の書籍を展示しています。氏は4月28日に天国に召されました。クリスチャンだったこともあり、本学院の柳川真太郎チャプレンからのご教示もいただき、追悼の意味を込めて展示しています。

その前は、3月28日にご逝去されたさとうわきこ氏（ばばあちゃんの絵本シリーズの作者）の絵本を展示していました。

以下に示すように、最近は追悼展示が多くなっています。ご冥福をお祈りしながら各々の作品に親しんでいただけると幸いです。

2021年度：エリック・カール氏、
神宮輝夫氏 松岡享子氏

2022年度：デビッド・マッキー氏、山脇(旧姓：大村)百合子氏、
松居直氏

2023年度：西内ミナミ氏

2023年度は『ぐりとぐら』誕生60周年を記念した展示もおこないました。

こういう特集展示をしてほしいというご希望があればぜひ図書館までご一報ください。

(図書館 小嶋 玲子)

幼児教育研究所

|| 柳城ならではの4つの取り組み

幼児教育研究所では、柳城の大学・短大の保育専門分野の強みを

活かして、大きく4つの取り組みをしています。①子育て支援「りゅうじょう広場」の「すくすくタイム」、②昭和区生涯学習センターとの共催講座、③学生参加の学習の場「りゅうじょうであそぼ」、④子育て相談です。コロナ明けの本格的再開となりました。

「すくすくタイム」は、週2回の開催で毎回約10組の2歳未満の親子さんが、ゆったりとしたキッズルームで、支援スタッフや学生スタッフと楽しい時間を過ごして頂いています。昭和区との共催講座では、2024年度は4名の教員が歌や絵本などの専門を生かした講座を担当します。「りゅうじょうであそぼ」は、短大・四大の学生たちが授業で体験的学びの時間として活用されています。子育て相談は外部の専門家とも連携しながら行います。

これらは、保育学や子ども学を専門とする本学にしかできない、教員と学生との協働による子育て支援であり地域貢献の取り組みだと考えています。今後ますます、学生と教員と地域の子育て家庭との輪が広がっていくことをめざして、本学の持つ環境を生かして努力してまいります。



(幼児教育研究所 豊田 和子)

■ 教学事務室より

名古屋柳城女子大学 フレッシュマンリトリート

2024年4月9日、名古屋柳城女子大学1年生が、フレッシュマンリトリート（新入生研修会）で「KAPLA®研修会：カプリアニマシオン」を行いました。例年は1・2年生の合同ゼミナールでしたが、今年度は、新入生同士のつながりを作ること、学びの具体的なイメージを膨らませることを目的として、入学直後の1年生のみで実施しました。「KAPLA®」はフラン



ス生まれの木製ブロックです。同じサイズの板を積み重ねることで様々な作品が造り出され、想像力、集中力やコミュニケーションカ



などが総合的に育まれます。

当日は、Centre KAPLA TOKYOの富安智子氏を講師にお招きし、体育館で約2時間実施しました。まず別教室にて、ゼミナール活動で参加した数名の4年生と教員有志による新入生歓迎SONGと4年生による学校紹介が、アットホームな雰囲気の中繰り広げられ、その後8人ずつのチームに分かれました。

体育館に移動して、いよいよ大量のカプラとの対面です。最初はカプラをどのように扱うのか不安そうでしたが、アシスタントで参加した4年生のフォローを受け



つつ、チームの中に会話が生まれ、徐々に「仲間で高い塔を築く」という同じ目標を持った活動になっていきました。カプラを集めたり手渡したり、脚立に乗って積み上げたりと、声を掛け合いながら協力している姿があちこちに見られました。

研修の終盤では、2～3チーム毎に合体し「ナイアガラ」という作品作りに没頭しました。崩すことで完成するこの作品の“最後”と一緒に観察し、一体感や充実感を味わいました。

（学生生活委員長 菊地 篤子）

名古屋柳城短期大学 合同ゼミナール

今年の夢ゼミは、新しい年度のスタートを切った2024年4月26日（金）に開催されました。場所は、大学を離れ2学年が一緒にスポーツをすることができる広さを持っている名古屋市東スポーツセンターにて行いました。この日のために、2年生は新しいゼミ（教職実践演習）のメンバーで、新入生に向けて衣装をデザインして、材料を揃え作成してきました。各ゼミで



は、背中に羽が生えたり、男女ともスカートをはいたり、カラービニールで作成された上着にはSDGsのテーマに関することが描かれていたり、それぞれ思い思いの衣装が作られました。運動会は、2学年で構成された4-5人のグループに分かれ、ビーチボールバレーのゼミ対抗総当たり戦とフラフープや紙テープを送る競争をしました。



そして最後に学生会の学生が企画運営を担当したファッションショーを行いました。先生方も学生と一緒にランウェイに見立てた

ところを歩き、笑顔が絶えない短大全体が一緒に活動できた忘れられない一日となりました。

活動後の感想には、楽しかった、来年も同じものをやりたい、もっと違う競技もやってみたい、学年間で話すきっかけとなった、交流ができた、関わりが深まった等の声が聞かれました。これからも、年度のはじめに学生同士や教員との絆を深めるこのイベントを継続していけるように願います。

（学生生活委員 菊池 理恵）

特別給付奨学金

特別給付奨学金奨励奨学生（前年度学年末 GPA 順位上位者）の表彰式を6月12日（水）に行いました。

奨学生のみなさんおめでとうございます。引き続き、学業に励んでください。

〈こども学科2年生（2023年生）〉

- 安藤 愛花さん
- 筒井 彩葉さん
- 古川 愛奈さん

〈こども学科3年生（2022年生）〉

- 間野 爽萌さん
- 松崎 早恵さん

- 稲向 美琴さん
- 牧野 華奈さん

〈こども学科4年生（2021年生）〉

- 芳田有未衣さん
- 石田 朋花さん
- 梅澤 久実さん

〈保育科2年生（2023年生）〉

- 伊藤 ひなさん
- 小屋敷華純さん
- 酒井 夕来さん
- 秋山 華穂さん
- 河合 桜織さん

■ 法人本部より

“個”の充実と差別化に向けて

1898年に柳城学院の創設者であるマーガレット・ヤング先生が保母養成を始めたことが柳城学院のスタートとなりました。そして今年で126年目を迎えることができました。

少子高齢化社会の動向は深刻度が加速するなど、教育界における質保証はますます高度なレベルを図ることが求められています。私たちは学校法人柳城学院の創立126年と、さらにその先を見据えた長期的な視野に立って、社会が求める教育の質を確保し提供するという確たる決意と力を持ち続ける必要があります。そして、国が進める一連の教育改革の方向性を確認しつつ、本学院の建学の精神

である「愛をもって仕えよ」（人びとと共に生き、人びとに仕える）のもと、歴史と伝統に則して設定した柳城学院の教育ビジョンに沿って、一步一步着実に具体的な施策を計画・実施し、前進を遂げていかなければなりません。

国の政策のもとで愛知県内においても学校法人を取り巻く環境が一段と厳しく変化する中、各設置校において着実な計画を立案・実行することにより、健全な経営基盤を確保すべく努めなければなりません。特に昨今の保育養成校の定員充足率は目を覆うばかりの状況でありませぬ。先日、各校から出された入学者数データによりますと、保育養成校の中で定員

を充足する大学、短期大学、専門学校はほとんどありませんでした。高校生の保育養成校に対する受験者の少なさは想像を超えるものとなっております。保育のみの単科で勝負する柳城にとっては、踏ん張りどころとなっている状況です。ここで踏みとどまれば、明るい未来が開けるかもしれません。現在、正念場となっています。これから先も柳城学院が輝き続けることが出来るように、教職員一同頑張らなければなりません。また卒業生の方たちもぜひご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



同窓会（のぞみの会）より

皆さま、お元気でいらっしゃいますか。

今年、同窓会では6年ぶりに総会を開催いたします。ぜひ、お越しください。

先日大学内で、廊下をおしゃべりしながら歩く学生さんたちの言葉が耳に入りました。「生きてるだけでエライのに、学校来るのエライくない？」ここでの「エライ」はこの地方の「しんどい」の意味ではなく「偉い」だとニュアンスで思いました。「生きてるだけで偉い」は、この学生だけでなく、実は近頃あちこちで目や耳にして気になっていました。

生まれてから20年程の年月、病気や事故、そしてコロナ禍を乗り越え、今生きているということは、本当にご両親や周りの方々に大切にされ、運も良かったのだと思います。自分自身でもつらいことがあっても、自ら命をどうこうしようなどとせず、頑張っ生きて抜いてきたのだとしたら、それはとても尊いことです。

それでも違和感を感じてしまうのは、自分の命に対してどこか他人事の

ような冷めた感じを受けてしまうからでしょうか。誰かのために生きてあげている、と受け取れてしまってなんだか淋しいです。自分の子供が言っているのを聞いたら、親は大ショックでしょう。

「生きてるだけで丸儲け」という言葉もあります。せっかくならこちらの言葉を口にしてもらえたら、前向きで楽しい学校生活が想像できて、こちらまで嬉しくなります。歳をとっても、前向きに生き、必要とされ活かされる日々を過ごしたいものです。

（同窓会長 鎮旗 真弓）



後援会より

日頃は後援会にご理解ご支援頂きありがとうございます。不慣れではございますが、みなさんと力合わせていけたらと思っています。

昨年ころから、コロナも緩和され少しずつマスクを外しての生活もできるようになり学校生活の中でも生徒の笑顔が見られるようになりました。

授業だけでなくサークルやボランティア活動、海外研修など充実したカリキュラムがあるのも柳城のいい所だと思って

います。娘もカナダ研修に行かせていただき日本とカナダの保育の違いを学び、貴重な経験をさせていただきました。今年度は韓国研修もあると聞いております。

そんな、柳城の支援を微力ながらしていけたらと思っています。私達も笑顔忘れず頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（後援会長 伊藤 奈美）

2024年度 後援会役員（敬称略・順不同）

役職名	氏名
1 会長	伊藤 奈美
2 副会長	望月 聖
3 会計監査	小林 笑子
4 会計監査	河合真由美
5 委員	土屋絵里奈
6 委員	三浦 由美
7 委員	日坂 千代
8 委員	松下 幸子
9 委員	寺野 幸子
10 委員	橋本 直子
11 委員	羽場 智子
12 委員	伊藤 りか
13 委員	加藤ひとみ
14 委員	清水 知子
15 委員	瀧川 伸江
16 委員	大石 葉子
17 委員	鈴木 友巳
18 委員	鈴木 夏世
19 委員	柳 加奈子

チャプレンからのメッセージ

中学生の時に、初めて中島みゆきさんの『わかれうた』という曲を聴きました。とても強烈な印象を受けたのですが、あまりにも内容が悲惨すぎて、中学生のわたしは好意的に受け止められませんでした。

大学生になって、深夜にラジオを聴くようになります。好きだったのは、中島みゆきさんの「オールナイトニッポン」という番組でした。歌の暗めの雰囲気とは違って、ラジオではとても明るいパーソナリティを放っていらっしゃいましたので、そのギャップに嵌まっていました。

番組は、わたしが大学3年生の時に終わりましたが、その後も中島みゆきさんの曲を好んで聴いていますし、『わかれうた』も今では好きな曲の一つです。

なかでもお気に入りには『命の別名』という曲です。その中に「命に付く

名前を『心』と呼ぶ」というフレーズがあります。わたしたちの「命」が、「心」と深く結びついていることを、良く表している素敵な歌詞だなと思います。機会があったら、一度聴いてみてもらえると嬉しいです。

ところで、ちまたで目にするは「命」

命に付く名前

チャプレン
後藤 香織

という言葉には、「生命」や「いのち」という表記のバリエーションがあります。人によって使い方は違うのかもしれませんが、キリスト教では、「生命」は、生物学的な、客観的で限りのあるものというイメージで使われ、

持ってもらって、大切な教えを広く伝えられるよ

うに、これからは宗教者もエンターテイナーにならなければならない……かもしれません。

ただ、僕はこの「差別化」という言

いつくしみ!

チャプレン
柳川 真太郎

葉が嫌いです。何故なら、この言葉には優劣や競争、勝ち負けが深く関わっているからです。少し調べてみましたところ、類語として「差異化」という言葉があるのを知りました。優劣をつけるのではなく、あくまで「他とは違うもの」として区別するという意味があるそうです。現代社会には、差別化

「いのち」は、主観的な、神さまのもとでの「永遠の命」をイメージして、区別して使い分けているようです。わたしたちの社会は、肉体の「生命」ばかりが重視され、人の心やその思いを「いのち」の出来事としては、考えていないように思います。

わたしたちチャプレンは、命に深く結びついている皆さんの心と思い、に寄り添うのが、その働きです。どうぞ心が悲しみや、苦しみで押しつぶされそうになったときに、わたしたちチャプレンのことを思い出して、訪ねてみてください。



左：チャプレン 柳川真太郎 右：チャプレン 後藤香織

よりも「差異化」のほうが必要ではないかと思えますね。

「創世記」に登場する最初の人アダムとエバに優劣はありませんでした。彼らの間にあったのは「差異」です。その考えは新約聖書にも受け継がれ、人間の社会は様々な部位から成る「一つの体」であり、不要な存在などないと考えられていました(第2コリント書 12:12-26 参照)。

この世界は既に、無数の「差異」で溢れています。ですから、我々がこれから取り組むべきことは、それらに優劣をつけて「差別化」を図ることではなく、皆が平等に神から与えられている「個性」を活かし合い、尊重し合う社会を実現できるよう努めることなのではないでしょうか。

今年度から大学のチャプレンに着任した柳川真太郎です。

写真をご覧ください。後藤香織チャプレンと二人で、人差し指を交差するポーズをして写っていますが、これは僕が考えた「いつくしみポーズ」です。学生たちとすれ違う度に、このポーズをしながら、「いつくしみ！」と言って挨拶をしています。「それよりも、その“金髪”は何なんだ」と言われそうですね。まあ、まずはこの金髪と「いつくしみ！」で覚えていただければ幸いです。

世の中には様々な宗教がありますが、「宗教離れ」が叫ばれる現代においては、宗教もまた“差別化”という言葉と無縁ではないと言えます。金髪に染めたり、キャッチーな言葉を使ったり。なんとか関心を

■ アドミッションセンターより

2024年度 入試結果

2024年度入学者につきましては、名古屋柳城女子大学こども学部こども学科が49名、名古屋柳城短期大学保育科が61名となりました。

大学（定員70名）、短大（定員100名）とも定員には満たず、大変厳しい結果となりました。

少子化が進んでいること、高校生の四大志向、また、不適切保育についてメディアで報道される

など、保育職への不安からか、保育・幼児教育志望する生徒も減少傾向にあり、厳しい外部環境にさらされていることが要因と考えます。しかしながら、「保育の柳城」の魅力を知ってもらうため、保育職の魅力も発信しつつ、高校生に柳城の教育を共感してもらえる広報を行って、入学者の確保に鋭意努めてまいります。

柳城は今年度学院創立126周年を迎えています。これまで柳城に関わってこられました皆様が築き、育ててこられた柳城の歴史と伝統を守りつ

つ、更に発展させていく所存です。

卒業生の皆様へのお願いです。毎年入学生から、本学卒業生の方に、「保育職に就きたいなら伝統と実績のある柳城がお勧めだよ！就職でも絶対有利！」と柳城を勧められて受験したという話を耳にします。身近に保育・幼児教育への進学を希望される方がいらっしゃいましたら、本学への受験をお勧めください！卒業生の皆様のサポートを何とぞよろしく願っています。

2025年度 入試概要

アドミッションセンターでは入学生の安定的な獲得に向けて、受験生一人ひとりの想いに寄り添った広報活動をさらに強化してまいります。

2025年度入試において卒業生の皆様に関わるることとして、本学を卒業された方（在学中の方も含みます）のお子様、お孫様、兄弟姉妹の方は、どの種別の入試でも合格された際は入学金24万円を免除しています。

さらに、2025年度入試より柳城学院の附属幼稚園（柳城、豊田、三好丘聖マガレット）の卒園者もどの種別の入試でも、合格された際は入学金が免除となります。

また、同窓生の方が推薦していただく、特別推薦同窓生推薦入試も設定いたします。こちらももちろん同様に入学金が免除となります。

て、信徒並びにその子女で、聖職者が推薦する者となっています。合格者は入学金が免除されません。

次に、園長推薦入試があります。この入試は、幼稚園、保育所、施設など保育現場の園長先生、施設長に高校生を柳城に推薦していただく入試制度です。

園、施設などにボランティア等で日頃から関わりのある高校生の方で保育者養成校への進学を希望される方がいらっしゃいましたら、お勧めいただければ幸いです。なお、この入試で合格された方は、入学金が半額減免となります（24万円が12万円となります）。

一般選抜入試・特別奨学生選抜試験及び特別奨学生チャレンジ試験

一般選抜入試については、国語と英語の2科目入試です。大学、短大とも「特別奨学生選抜試験」も兼ねて実施しております。この制度は、試験結果により成績優秀者を特別奨学生A、特別奨学生B、特別奨学生Cとして、以下の優遇措置をいたします。また、年内に行われる入試（総合型選抜、学校推薦型選抜、特別推薦）で合格し、入学手続きを完了している方（希望者）にも特別奨学生チャレンジ試験として受験していただき、成績優秀者は同様の優遇措置が受けられます。

名古屋柳城短期大学・名古屋柳城女子大学 2025年度入試概要 ～日程、試験内容等～

試験区分	募集人員 短大 大	募集人員 四 大	出願期間 (最終日必着)	受験票 送付日	試験日	合否発表日 (発送日は前日)	手続き期間 (入学金納入期限)	
総合型選抜	45	30	総合型選抜A入試	9/2 ㊟～9/13 ㊟	9/20 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜B入試	9/2 ㊟～9/13 ㊟	9/20 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜C入試	9/20 ㊟～10/4 ㊟	10/7 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜D入試	10/11 ㊟～10/25 ㊟	10/28 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜E入試	10/25 ㊟～11/1 ㊟	11/5 ㊟	書類審査のみ	11/8 ㊟	11/8 ㊟～11/15 ㊟
			総合型選抜ピアノチャレンジ型	9/30 ㊟～10/10 ㊟	10/11 ㊟	2024/10/19 ㊟	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜F入試	2/7 ㊟～2/14 ㊟	2/17 ㊟	2025/2/22 ㊟	2/27 ㊟	2/27 ㊟～3/21 ㊟
総合型選抜	30	30	総合型選抜G入試	2/21 ㊟～2/28 ㊟	3/4 ㊟	2025/3/8 ㊟	3/13 ㊟	3/13 ㊟～3/21 ㊟
			総合型選抜I入試	9/2 ㊟～9/13 ㊟	9/20 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜II入試	9/2 ㊟～9/13 ㊟	9/20 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜III入試	9/20 ㊟～10/4 ㊟	10/7 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜IV入試	10/11 ㊟～10/25 ㊟	10/28 ㊟	書類審査のみ	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			総合型選抜V入試	10/25 ㊟～11/1 ㊟	11/5 ㊟	書類審査のみ	11/8 ㊟	11/8 ㊟～11/15 ㊟
			総合型選抜VI入試	2/7 ㊟～2/14 ㊟	2/17 ㊟	2025/2/22 ㊟	2/27 ㊟	2/27 ㊟～3/21 ㊟
学校推薦型選抜	45	30	総合型選抜VII入試	2/21 ㊟～2/28 ㊟	3/4 ㊟	2025/3/8 ㊟	3/13 ㊟	3/13 ㊟～3/21 ㊟
			指定校推薦入試専願	10/28 ㊟～11/7 ㊟	11/8 ㊟	2024/11/16 ㊟	12/3 ㊟	12/3 ㊟～12/10 ㊟
			公募制推薦A入試専願	10/28 ㊟～11/7 ㊟	11/8 ㊟	2024/11/16 ㊟	12/3 ㊟	12/3 ㊟～12/10 ㊟
			公募制推薦B入試併願	11/11 ㊟～11/28 ㊟	11/29 ㊟	2024/12/7 ㊟	12/12 ㊟	12/12 ㊟～12/20 ㊟
			指定校推薦入試専願	10/28 ㊟～11/7 ㊟	11/8 ㊟	2024/11/16 ㊟	12/3 ㊟	12/3 ㊟～12/10 ㊟
			公募制推薦I入試専願	10/28 ㊟～11/7 ㊟	11/8 ㊟	2024/11/16 ㊟	12/3 ㊟	12/3 ㊟～12/10 ㊟
			公募制推薦II入試併願	11/11 ㊟～11/28 ㊟	11/29 ㊟	2024/12/7 ㊟	12/12 ㊟	12/12 ㊟～12/20 ㊟
特別選抜	5	5	同窓生推薦入試	9/30 ㊟～10/10 ㊟	10/11 ㊟	2024/10/19 ㊟	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			同窓生推薦入試 園長推薦入試	9/30 ㊟～10/10 ㊟	10/11 ㊟	2024/10/19 ㊟	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
一般選抜 (向大、短大併願可)	3	3	同窓生推薦入試 キリスト教会推薦入試	9/30 ㊟～10/10 ㊟	10/11 ㊟	2024/10/19 ㊟	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			同窓生推薦入試 キリスト教会推薦入試 園長推薦入試	9/30 ㊟～10/10 ㊟	10/11 ㊟	2024/10/19 ㊟	11/1 ㊟	11/1 ㊟～11/8 ㊟
			一般選抜A入試(2科目入試) (特別奨学生入試)1日目	1/6 ㊟～1/17 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/25 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			一般選抜A入試(2科目入試) (特別奨学生入試)2日目 1/26 ㊟は特別奨学生チャレンジ試験(希望者のみ)	1/6 ㊟～1/17 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/26 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			大学入学共通テスト利用A	1/6 ㊟～2/7 ㊟	2/12 ㊟	—	2/20 ㊟	2/20 ㊟～2/27 ㊟
一般選抜 (向大、短大併願可)	3	3	大学入学共通テスト利用B	2/10 ㊟～2/21 ㊟	2/26 ㊟	—	3/6 ㊟	3/6 ㊟～3/21 ㊟
			一般選抜I入試(2科目入試) (特別奨学生入試) 1日目1/25 ㊟は特別奨学生 チャレンジ試験(希望者のみ)	1/6 ㊟～1/17 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/25 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			一般選抜I入試(2科目入試) (特別奨学生入試)2日目	1/6 ㊟～1/17 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/26 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			大学入学共通テスト利用I	1/6 ㊟～2/7 ㊟	2/12 ㊟	—	2/20 ㊟	2/20 ㊟～2/27 ㊟
			大学入学共通テスト利用II	2/10 ㊟～2/21 ㊟	2/26 ㊟	—	3/6 ㊟	3/6 ㊟～3/21 ㊟
特別選抜	若干名	若干名	社会人入試	1/6 ㊟～2/7 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/25 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			帰国生徒入試	1/6 ㊟～1/17 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/25 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			社会人入試	1/6 ㊟～2/7 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/25 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟
			帰国生徒入試	1/6 ㊟～1/17 ㊟	1/21 ㊟	2025/1/25 ㊟	1/30 ㊟	1/30 ㊟～2/14 ㊟

総合型選抜入試

総合型選抜入試を年明けまで7期に渡って実施いたします。さらに今年度からは、第1期入試を7月上旬に1次選考を行うこととして、早めの進路決定を望む受験生に対応をいたします。

保育者を目指し、柳城での学びに積極的な方であれば、出願資格において成績・欠席日数を問いません。選考については、一次選考として、プレゼンテーションと面接を行います。今年度よりプレゼンテーションの方法を①対話重視型、②プレゼン型、③保育表現型と受験生が自身のアピール方法を選択できる方式といたしました。一次選考の結果、出願を認められた方については、高校が発行する調査書等の提出をもって書類選考を行い、合否判定いたします。

学校推薦型選抜入試等

公募制推薦入試については、専願型と併願型の2種類で実施します。出願書類に課題作文をあわせて提出していただきます。試験内容は提出された課題作文を基に質疑応答と面接で合否判定を行います。

指定校推薦入試は志望理由書に基づく質疑応答・面接を行います。

特別推薦入試

柳城独自の入試として同窓生推薦入試のほか、2つの入試制度があります。はじめにキリスト教会推薦入試につきましては、出願資格とし

〈特別奨学生 A〉

- 入学金全額免除
- 授業料初年度半額減免

※ 2 年次以降は成績等により継続可否を決定

〈特別奨学生 B〉

- 入学金半額減免
- 授業料初年度 4 分の 1 減免

※ 2 年次以降は成績等により継続可否を決定

〈特別奨学生 C〉

- 入学金全額免除

大学入学共通テスト利用入試

柳城は大学入試センターの大学入学共通テストにも参加しています。2 月、3 月に各 1 回大学共通テスト利用入試を行っています。

今後、一人でも多くの受験者が得られるように

PR に努めてまいります。以上、本学入試の詳細は 2025 年度学生募集要項及びホームページの入試情報をご確認ください。なお、大学案内、入試ガイドは本学 Web サイトより請求できます。

アドミッションセンターでは、入試に関するご相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

アドミッションセンター 電話：052-848-8281 (直通) e-mail：kouhou@ryujo.ac.jp

2024 年度りゅうじょうオープンキャンパス並びに入試相談会・キャンパス見学会の開催について

柳城は“受験生に優しい入試”をコンセプトとします。2024 年は 3 月からオープンキャンパスを開催しています。今年度は柳城を知っていただく機会をできるだけ多く設け、多忙な高校生活を

送る受験生の皆さんに 1 人でも多く来場していただくとうオープンキャンパスのほか、入試説明会・キャンパス見学会、また、短大保育科限定オープンキャンパスも設定しています。また、新たな

相談会などなど、たくさんのプログラムを用意しています。

また、入試説明会・キャンパス見学会は、入試説明、入試相談に特化、プラス希望者にキャンパス見学をしていただく機会といたします。身近に保育職を希望する、あるいは興味関心のある方がいらっしゃいましたら是非参加をお勧めください。



試みとして、オープンキャンパス、入試相談会・キャンパス見学会に参加した受験生に「参加証明書」を配布しています。この証明書を出願の際に同封してもらうことにより、入学検定料を通常の 3 万 2 千円から 2 万円に減額いたします。

開催日時は以下のとおりです。

オープンキャンパスでは大学、短大紹介、入試説明、柳城生のライブトーク、授業体験、キャンパスツアー、保育ワークショップ、就職情報展示会、入試個別相談会、ピアノ

今後の開催期日

- オープンキャンパス 8/25 (日)
- 短大限定オープンキャンパス 9/8 (日)
- 入試説明会・キャンパス見学会 9/16 (月・祝) 9/23 (月・祝) 10/12 (土) *柳城祭と同時開催
- 推薦入試対策講座 11/2 (土) 12/7 (土) 一般選抜入試対策講座

事前予約申込制で開催します。
詳細は本学 Web サイトをご覧ください。

2023 年度 就職状況

2023 年度は、こども学部こども学科第一期生の学生 32 名が卒業しました。その内 30 名が就職を希望し、全員が正規職員として就職することができました。保育職は全体の 83.3% を占めました。

保育科は 96 名が卒業しました。その内 92 名が就職を希望し、2 名が進学を希望しました。全員がそれぞれ進学、就職をすることができました。保育科は保育職が全体の 95.7% を占めました。

こども学科と保育科の卒業生は、この 4 月より社会人として、それぞれの場所で活躍してくれていることと思います。

学生は保育者になる夢を叶えるため、説明会や園見学に足を運び、就職活動に取り組みました。また、自分の思いや希望を胸に、夢に向かって就職活動に励んだ学生もいました。

今後それぞれの職場で、充実した人生を歩んでもらえることを祈念しています。卒業生の方が笑顔で輝いている姿を見ることが、就職課職員の何よりの励みです。

2023 年度も昨年度に続き、保育の求人数を多く（幼稚園・保育園・こども園の求人件数 1,144 件）いただくことができました。保育現場からの柳城への信頼と、更なる期待を感じずにはられません。

今後も卒業された諸先輩方が長年をかけて築かれた良き伝統と実績に感謝しつつ、それをしっかりと守っていくための努力を続けて参りたいと思います。そして、学生一人ひとりが満足度の高い就職ができることを目指して、教職員全体でより連携を図り、学生に対するきめ細やかな支援を行っていききたいと思います。(就職課)

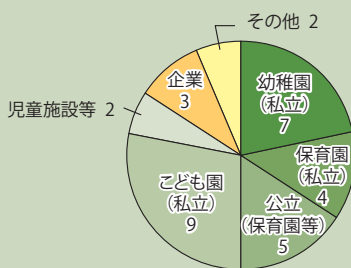
2023 年度卒業生

2024 年 3 月 31 日現在

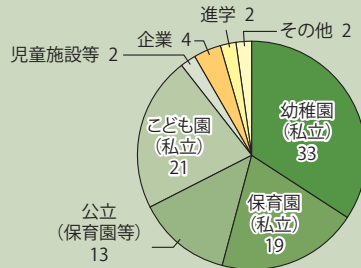
	卒業者数 (人)	就職希望者 (人)	就職率 (%)	進学者 (人)	就職希望なし (人)
こども学科	32	30	100	0	2
保育科	96	92	100	2	2



2023 年度こども学科卒業生 32 人



2023 年度保育課卒業生 96 人



■ 名古屋柳城短期大学 附属幼稚園より

柳城幼稚園



少子化の波がひたひたと押し迫る中、今後の動向に危機感を憶えながらも日々の園生活はいつもと変わることなく元気な子どもたちの姿に励まされる毎日です。

園児数は昨年度のスタート時より少なく5月1日を過ぎても100名には達していません。今年度の年少児の出生時はコロナ禍真最中で、さらにその下の学年の満三歳児も同様です。数年前、と言ってもまだ2年ほど前ですが、それまでは年少児の入園はお断りするのが忍びなく、また満三歳児クラスにいたっては既にこの時期定員数に迫る勢いで予約が入っていました。さらに就園前の2歳児教室も常にウエイティング状態でした。元より予測はされていた少子化傾向ですが、コロナ禍により拍車がかかり今後もその傾向は留まるところをしません。



さらに保育者不足も深刻な中、今年度より、卒園生の保護者の方が2名保育のお手伝いをしてきています。昨年度末必要な人材確保に困窮していた時、当園のHPの小さな保育補助募集の記載を見てくださった保護者の方からのお話でお勧めいただいた方とお話がまとまり、今強力なスタッフとして助けていただいています。どちらの方も当園を卒園した子どもたちが立派

に素敵に成長していることを喜んでいただき、何かお手伝いが出来ればというお気持ちでお力をいただいています。卒園した子どもたちのそのお話自体とても嬉しく思い、私たちの励みになっています。子育て経験者として若い先生方への支えにもなりますし、あたたかい包容力で子どもたちを包んでくださり、子どもたちは満足そうにゆったりとその身を委ね落ち着いていきます。今後も豊かな子育て経験を活かして子どもたちの為にお力添えいただきたいと願っています。



一方、このところの子どもたちの怪我の多さに危機感を覚えています。今までは転んでも擦り傷程度であったことが、骨折にまで至るなど子どもたちの身体自体に大きな変化が現れ危惧しているところではあります。身のこなし自体も危うく、転びやすくなっていることもここ数年で増加傾向にあります。これもまたコロナ禍の影響が考えられ、公園で遊ぶことがままならなかったその環境が子どもたちの身体を弱くしていることは否めません。また長く続いたマスク生活や過度な感染予防対策により免疫力の低下も顕著で、風邪など引けば長引くなど子どもたちの身体への影響は本当に大きく現れています。



課題の多いこの保育の世界で、これからの子どもたちの大切な育ちを守るために何が必要で何を選択していくのかをしっかりと見極め対処していかねばと思っています。

今年度の愛知県私立幼稚園連盟の定時総会で昨年度瑞宝小綬章された保育会の重鎮吉田敬岳先生と言葉を交わす機会を得ました。その折に先生からのお言葉に柳城学院の建学の精神「By Love Serve」はご自分の心に残る言葉だと、「愛をもって仕えよ」は幼児教育にとって重要なことだとおっしゃられました。長年幼児教育の第一線で活躍されてこられた先生がこの柳城学院の大切にしている建学の精神をそのように心に留めてくださっていることに感動を覚え、改めてこの建学の精神が柳城学院に携わる方々全てに浸透することを願ってやみません。



昨年度秋に無事に耐震工事を終えたマルコ教会で、昨年度のクリスマス礼拝を無事に行うことが出来、その後もお誕生日礼拝を始め子どもたちの祈りの場が戻ってきました。さらにチャプレンの丁司祭が積極的に働きかけ、ランドセル祝福式をイースターに行ってくださいたり、単発ではありますが教会での様々な行事を企画し卒園生を含め子どもたちを教会での集まりに参加させてきています。教会が隣接している柳城幼稚園のこの恵まれた環境を活かし、子どもたちにとって神様がいつも守ってくださっているということを感じられるような場であり続けたいと願っています。

(園長 織田 純代)

豊田幼稚園



小野新園長を迎え、柳城豊田幼稚園がさらに新しい一歩を歩み始めました。これこそ養成校である大学・短期大学と保育現場の点と点が結ばれ、最新の保育観・技術と現場で求められる保育実践力の情報共有ルートの構築が実現しました。

保育者養成校の附属園だからこそできる時代に即した保育、そして将来就職してチームの仲間になってくださる学生さんに夢や目標となる現場でありたいと、互いに歩み寄り知り合う関係性を大切に持ち続けたいと思います。

新しい一年の始まりと出会い

乳児クラスは定員を満たしてのスタート。1年間の長期的スパンで一人ひとりの成長の見通しと目標を設定できる恵まれた一年となりそうです。幼児クラスも一人ひとりの変化と成長だけでなく、子どもたちの「あのね」の声にも対応しやすい恵まれた人数です。

この素晴らしい出会いをくださった神様と子どもたち、柳城豊田幼稚園を選んでくださった保護者の皆様に感謝を込めて日々大切に過ごしてまいります。



大好きな場所に幼稚園も加わる

大好きな場所はいくつあってもいいものです。入園・進級当初は、大きくなった喜びと同時に不安と緊張も入り交じり「早くおうちに帰りたい」「バスの運転手さんはどこ？」涙の連続でした。

いつの間にか、爽やかな風が吹き、日差しが眩しくなる頃には子どもたちの泣いている声もぐっと減り、先生や友達の名前を呼ぶ声や楽しそうに笑い、園庭を走り回る姿がたくさん見られるようになりました。行きつ戻りつしながらも着実に幼稚園が“大好きな場所”になりつつあります。



はじめてのハサミ

年少児が初めてのハサミに挑戦。ハサミに指を入れる・指を開いて閉じる・紙にある線をめがけてハサミを入れるも思ったようにハサミが動かない。何度も繰り返すうちに「あ、切れた」「できたー」「もっとやりたい」と、表情がパッと晴れやかになりました。

ハサミで切った色画用紙を透明袋に入れたら“風船”の出来上がり！ポンポンと投げたり、袋を振って色画用紙の動きを見たり、頬にこすり合わせて感触を楽しんだり、保育者が「なるほど！こういう楽しみ方もあるのね」と思うような、それぞれの色々な楽しみ方も垣間見えた瞬間でした。



「ねえ、みて」「ほら、みて」

「ねえ、みて」「ほら、みて」「歯が抜けたよ！！」年長児が朝の支度をしながら、大きな口を開けて嬉しいお知らせをしてくれました。

園で過ごす全ての子どもたちが乳幼児期の成長著しい時期にあります。“おすわりができた”“言葉が出てきた・2語文になった”“覚えた言葉は「おねえさん」見るもの全てをおねえさんと呼ぶ”“おむつが取れた”“三輪車が前に進むようになった”“友達とイメージを共有しながら遊べるようになった”そして“背が伸びて歯が抜けた”数えきれないほどの成長と感動にいつも心がはずみ温かくなります。



地域に根差した認定こども園に

今年度より子育て支援の形を一新。

子どもたちだけでなく、保護者の皆様をお支えするのも地域のこども園の大切な役割です。

☆在園児保護者向け支援『子育てサロン』（茶話会・講演会・パパママ先生など）

☆地域にお住まいの親子向け支援『にじいろ』（プランター栽培・タオル遊び・わらべ歌や絵本講座・講演会など）

この二つの新しい支援の場で、

- ・子育ての楽しさを共有する場所の提供

- ・子育ての悩みや不安を軽くする考え方や、子どもの捉え方の提案

を大きな柱として計画実行中です。



(豊田幼稚園・事務次長 久松 仁美)



今年度からみよし市では初めての施設型給付の幼稚園となり、新しい園長を迎え、新しい風が吹いているマーガレット幼稚園です。園長の奏でるオカリナの優しい音色に耳を傾け、園に集う親子そして職員も心が穏やかになる時間を共に歩んでいます。未就園児の働きかけですが、今年度は親子教室のクローバー会を週に2回行い、にこにこ体操という体操教室も行うことで多くの親子に足を運んでいただく機会が増えています。給食試食会では定員以上の方が参加されました。



コロナが明けたこともあり、楽しい企画をしよう！という事で、5月中旬に保育参観では、親子クッキングを各学年行いました。年長組は白玉団子の実験、味付けの研究、年中組はあつと驚くフルーツポンチ。サイダーとラムネの合体という素敵な演出で「わおー！」と歓声上がるほどでした。年少組はかわいくこねこね…。茹で上がったお団子をしょうゆでみたらし風に味付けしておいしそうに喜んで食べることができました。次回秋のクッキングは、お月見団子や焼き芋パーティーを計画なので、今から子どもたちも職員も楽しみにしています。



在園児で一番小さい、満3歳児クラスのひよこ組さん。「ママがいい」と泣いているかと思いきや、入園して間もないお友達でもたくましく、給食

をモリモリ食べています。おいしい楽しい給食の時間はあっという間に終わります。たくさんおかわりをして満足気な笑顔です。どんどん新しいお友だちが入園して増えていくので、どんなひよこ組さんになっていくのか楽しみです。



年少組さんは園生活に慣れて来て、にこにこ笑顔で登園してくれるお友だちが増えました。みんな担任の先生が大好きな様子です。違う先生がお部屋に入ると「あかり先生じゃないと、やだ！」なんて言われてしまうくらいです。朝、クラスのお友達がバスから降りてきて、園の通用門を通って来ると駆け寄ってきて「おはよ！」と挨拶ができるようになってきました。とっても素敵ですね。



年中組さんは、鼻の長いぞう組か首の長いきりん組さん。廃材の制作がだーい好きです。年中組は園舎の2階のお部屋になって、廃材の扱いも自由に楽しめるようになりました。各々が世界に一つしかないオリジナル作品を考えながら、今日はどんな宝物を作って持って帰ろうか…と試行錯誤しながら作っています。



また、自由遊びの時間中、自然豊かな戸外遊びでは泥んこ遊びが始まり、思いっきり楽しんでいます。砂、水、



泥に触れ、水の分量によってどのように砂が変化するか感触を確かめ、喜んで遊んでいました。



一番大きい年長組。先生の話聞いて「今日は園長先生がお礼拝に来てくれるんだってー！」「えっ？園長先生が礼拝に??」と喜んでいる子どもたち。友だち同士で礼拝を心待ちにしている様子が伝わってきます。礼拝の前には『♪ふしぎなかぜ』が、歌いたい！』といったリクエストもありました。

♪ふしぎなかぜが びゅうっとふけば
 なんだか ゆうきが わいてくる
 イエスさまの おまもりが きつとあるよ
 それが せいの はたらきです
 しゅイエスの めぐみは あのかげとともに♪

子どもたちが戸外でときどき口ずさみながら遊んでいます。

みんなが『♪こころをあわせ』のオカリナバージョンを聴くと、とても静かに集中し、園長先生の聖書のお話を聞いて、「へえ～」と驚き？関心？物語を楽しむ姿もあります。



アットホームであたたかく、一人一人を愛する保育を大切にします。子どもたちに愛されていると感じてもらうことで自分やお友だちを大切にできる、やさしい心と自己肯定感を育みたいと思います。今年は何年になるのかワクワクドキドキ。保護者の方々や地域の方々、そして子どもたちの、笑顔あふれる毎日を楽しみながら、職員一同でチーム保育をしていきたいと願っています。

(主任 北野 明子)

2023年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

科 目		2022年	2023年
収入の部	学生生徒等納付金収入	445,871	482,672
	手数料収入	6,193	4,866
	寄付金収入	7,482	6,101
	補助金収入	370,690	391,708
	資産売却収入	0	0
	付随事業・収益事業収入	31,814	27,534
	受取利息・配当金収入	5	4
	雑収入	9,000	67,962
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	32,440	24,600
	その他の収入	40,892	35,180
	資金収入調整勘定	△ 64,554	△ 126,324
	前年度繰越支払資金	455,500	414,325
	収入の部合計	1,335,337	1,328,633
支出の部	人件費支出	654,510	768,444
	教育研究経費支出	151,759	175,385
	管理経費支出	85,364	83,189
	借入金等利息支出	966	908
	借入金等返済支出	13,056	13,056
	施設関係支出	4,675	10,156
	設備関係支出	29,017	28,918
	資産運用支出	1,200	1,200
	その他の支出	27,523	34,532
	資金支出調整勘定	△ 47,061	△ 43,305
	翌年度繰越支払資金	414,325	256,147
	支出の部合計	1,335,337	1,328,633

[2023年度決算状況]

1. 収支の状況

2023年度に於いては、4年制大学開学完成年度を迎え節目の年度であり経営状態を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入 981,613千円、事業活動支出計は 176,406千円となり、昨年度に続き、支出は増加した。活動区分による教育活動資金収支差額は△ 129,622千円、事業活動収支計算書による教育活動収支差額は△ 208,422千円、基本金組入前当年度収支差額は△ 194,793千円となった。これは主に4年制大学完成年度であるが、各部門で定員充足率は満たされており、学生数減による手数料収入、付随事業収入の減少と4年制大学での退職金及び新制度移行園等も含めた人件費の増加に起因する。また、資金収支計算書に於いても18歳人口の減少と保育・幼児教育分野の学生募集に於いて専門学校との競合など学生確保に苦慮し厳しい財政につながっている。

2. 貸借対照表

総資産額は 3,294,936千円となり前年対比 201,488千円減少した。固定負債は、附属豊田幼稚園園舎改築資金借入金 181,696千円を含め 343,975円、流動負債は、91,524千円で前年度比 2,041千円増加した。

[学院：事業活動収支差額の経年変化]

■ 事業活動収入

学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入

■ 事業活動支出

人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額

■ 基本金組入前当年度収支差額

事業活動収入－事業活動支出

■ 事業活動収支差額比率

基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。

※ 2015年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支状況

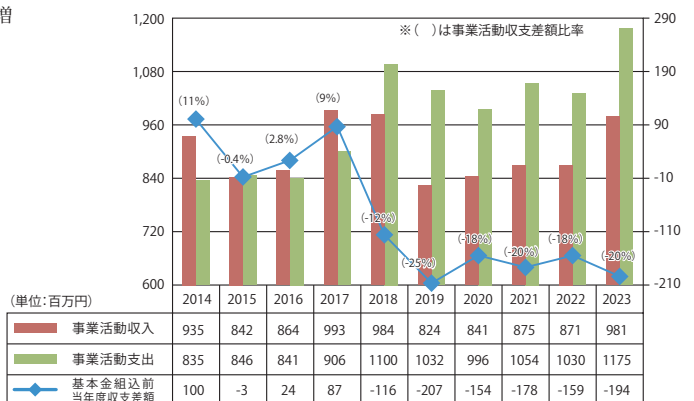
(単位：千円)

科 目		2022年	2023年	
教育活動収入	学生生徒等納付金	445,871	482,672	
	手数料	6,193	4,866	
	寄付金	6,403	4,847	
	経常費等補助金	359,621	378,170	
	付随事業収入	31,814	27,534	
	雑収入	9,000	67,962	
	教育活動収入計	858,905	966,054	
	事業活動支出	人件費	655,675	769,451
		教育研究経費	281,976	315,410
		管理経費	92,545	89,609
徴収不能額等		0	5	
教育活動支出計	1,030,197	1,174,477		
教育活動外収入	受取利息・配当金	5	4	
	その他の教育活動外収入	0	0	
	教育活動外収入計	5	4	
	借入金等利息	966	908	
事業活動支出	その他の教育活動外支出計	0	0	
	教育活動外支出計	966	908	
特別収入	資産売却差額	0	0	
	その他の特別収入	13,298	15,553	
	特別収入計	13,298	15,553	
	資産処分差額	761	1,021	
事業活動支出	その他の特別支出	0	0	
	特別支出計	761	1,021	
基本金組入前当年度収支差額		△ 159,716	△ 194,793	
基本金組入額合計		△ 19,525	△ 30,635	
当年度収支差額		△ 179,242	△ 225,429	
前年度繰越収支差額		△ 1,495,940	△ 1,673,934	
基本金取崩額		1,247	0	
翌年度繰越収支差額		△ 1,673,934	△ 1,899,363	

貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目		2022年	2023年
資産の部	固定資産	3,052,462	2,944,143
	流動資産	443,962	350,792
	(内、預金)	414,325	256,147
	資産の部 合計	3,496,424	3,294,936
負債の部	固定負債	352,712	343,975
	(内、借入金)	194,752	181,696
	流動負債	89,483	91,524
負債の部 合計	442,195	435,500	
基本金の部合計		4,728,164	4,758,799
翌年度繰越収支差額		△ 1,673,934	△ 1,899,363
負債及び純資産の部合計		3,496,424	3,294,936



■ 新任教職員紹介

附属幼稚園

豊田幼稚園 園長

小野 隆



私学の専任教育職員となり早25年以上の月日が経つのですが、今回ご縁をいただき、幼保連携型認定こども園名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園の園長に就任しました。長らく、レクリエーションの考え方である「自由」な発想で「楽しい」活動をコンセプトに、日々公私共に大変充実した毎日を送っています。この度さらに、子どもたちやその親御さん、保育幼児教育の先生や地域の方々からも、多くの癒しパワーをいただくことになり、感謝の念でいっぱいです。毎日がピクニックの様な楽しい園を目指して行きます。ご協力ください。

名古屋柳城女子大学子ども学部の学部長も兼務しますので、附属園との教育研究にもさらに力を入れて参ります。

豊田幼稚園 教諭

浅野 亜津子



2年前から、特任職員として、豊田幼稚園にお世話になっておりますが、この度、正規職員として引き続きお世話になる事になりました。私の保育歴の中で「キリスト教保育」は初めての経験でしたが、「命の大切さ」「平和」「愛してるよ」などの教えは、保育・子育てをしてきた私にとってストンと腑に落ちた感覚があります。

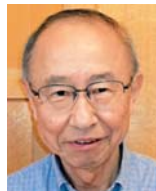
これからも可愛い子ども達と「愛をもって」楽しく過ごしていきたいと思っております！

三好丘聖マーガレット幼稚園 園長

伊藤 幸雄

それまでの責任やストレスから解放されて、この2年間優雅な老後生活を送っていました。このたび再び幼稚園で働くことになり、早くみんなと仲良しになりたいと思い、作り笑顔(?)でお

付き合っています。以前働いていた時は、逃げ出したくなると思うことがよくありましたが、いざそれが実現してみると、退屈で寂しくなりました。実にわがままな私ですが体と頭の健康維持に努め、働く仲間にも助けをもらいながら職務を果たしていきたいと思っています。



三好丘聖マーガレット幼稚園 職員

中原 愛子



マーガレット幼稚園にお世話になり9年目を迎えます。元気いっぱい子どもたちの笑顔にパワーをもらいながら楽しく働くことができています。

今年度より施設型給付園移行に伴い専任職員として勤務させていただいています。

笑顔での応対を心に、これまで以上に幼稚園や先生方そしてかわいい子どもたちのために頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 退任あいさつ

名古屋柳城女子大学

髻柳 久美子



名古屋柳城短期大学に23年間、名古屋柳城女子大学に4年間、合計27年間柳城学院に奉職しこの度定年退職いたしました。専門である教育哲学を基盤に、学生とともに保育学を学び探究してきました。そして、四年制大学を開設するにあたって、子ども学部の学部長として微力ながら尽力し、完成を迎え退職できたことはこの上なく幸せなことです。教職員を始めとする皆様のお陰と感謝申し上げます。今後も柳城学院の発展を心よりお祈りしています。

松本 一子



3年間大変お世話になりました。担当した科目は「多文化共生」に関するものでしたが、印象深いことは、2022年に愛知県の「多文化子育てサロン事業」に応募して採択され、相互連携協定を結んでいる東郷町と協力して子育て支援を行うプログラムを立ち上げたことです。ご支援とご協力をいただいた教職員、学生、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

今後も大学の益々のご発展を祈念しております。ありがとうございました。

『気持ちも新たにスタートします』

神戸 厚



定年となり柳城学院を退任させていただきました。皆様には、大変お世話になりました。2024年度からは、嘱託職員として引き続きお世話になります。

さて人生の第二幕を切って落とすにあたり、「人生リセットボタンはないけど、スタートボタンは何度押したっていい」という言葉を胸に抱き、気持ちも新たにスタートして行く所存です。

皆様におかれましても過去の経験や挫折を乗り越え、新しい目標や計画に向かって前向きに行動される事を切に願います。

名古屋柳城短期大学

若杉 雅夫



令和6年3月末日をもって名古屋柳城短期大学を定年退職いたしました。

半年の非常勤講師を含め4年半と決して長いとは言えない在職期間でしたが、私にとって充実した日々が続き、密度の濃い年月でした。

退職後、家事に制作にと忙しい日々が続いておりますが、その中でもふと、学生や教職員の皆さ

んどの思い出が、走馬灯のように駆けめぐり、懐かしく心癒されております。

教職員の皆様には、在職中大変お世話になり、心から感謝しております。

ありがとうございました。

富貴田 智子



短い間にも関わらず柳城生の良さをたくさん感じることができた1年でした。柳城生のもつ素直さ、謙虚さ、勤勉さは保育現場だけでなく社会のあらゆる場面で求められる資質だと思います。学生時代に蓄えた力が卒業後さらにどう形作られるのか楽しみです！今後は、少し離れたところからになりますが、引き続き柳城生の活躍を応援していきます。お世話になりました。ありがとうございました。

榎戸 裕子



柳城短期大学の教員として、また学生として合わせて8年間、大変お世話になりました。柳城で学んだ建学の精神「愛をもって仕えよ」は、今も心の中に脈々と生き続けています。心根の優しい学生たちと身近な生き物の小さな命を感じた日々は尊い経験でした。

共に学び合った学生たちと教職員の皆さまの温かい応援に支えられ、充実した教員生活を送ることができましたこと、深く感謝しております。今後も柳城学院の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

長谷中 崇志



柳城学院での教員生活は、私にとってかけがえのない大切な時間となりました。どこからともなく日常的に聴こえてくるピアノの音色や歌声、共に創った学内・地域での親子との交流の機会、心穏やかにリフレッシュできるチャペル等々。学生や教職員の皆様との素敵な思い出を振り返る中で、柳城の思いやりに満ちた

温かな学風に改めて感銘を受け、歴史と伝統ある柳城とご縁ができたことの幸運を実感しています。ありがとうございました。

豊田幼稚園

鈴木 愛理

柳城豊田幼稚園には新卒から5年間お世話になりました。そこで出会った大好きな子どもたちやいつも明るく声をかけてくださる保護者の

方々、共に切磋琢磨し合った先生方との出会いや学び、楽しかった数多くの思い出は私の一生の宝ものであり、豊田幼稚園で先生として子どもたちと過ごした日々は私の誇りです。保育者という仕事の素晴らしさを教えてくださったこの場所に心から感謝しています。5年間ありがとうございました。



■ 学院人事

※「退職」以外は2024/4/1付
大学/短大

■ 退職

2024/3/31付

- 鬢櫛久美子 (大学 教授)
- 松本 一子 (大学 准教授)
- 高瀬 慎二 (大学 准教授)
- 若杉 雅夫 (短大 教授)
- 富貴田智子 (短大 教授)
- 榎戸 裕子 (短大 教授)
- 長谷中崇志 (短大 准教授)
- 神戸 厚 (大学 課員)

■ 再任

- 菊地 伸二 (大学/短大 学長)
- 豊田 和子 (大学/短大 副学長)

■ 配置転換

- 豊田 和子 (短大 教授)

■ 任用

- 小野 隆 (大学学部長)
- 村田 康常 (大学学科長)
- 野崎 真琴 (短大学科長)

■ 再雇用 (特別任用教員)

- 豊田 和子 (短大 教授)
- 荻原はるみ (大学 教授)

■ 昇格

- 片山 伸子 (大学 教授)
- 菊地 篤子 (大学 教授)
- 三輪 雅美 (大学 教授)
- 山本 聡子 (大学 准教授)
- 豊田 明子 (大学 准教授)
- 大崎 千秋 (短大 教授)

■ 配置転換等

- 青山 佳代 (アドミッションセンター副センター長)
- 三枝 和也 (アドミッションセンター長 (兼務))
- 制野 司 (IR室長 (兼務))
- 佐藤 章裕 (総務課長補佐)

附属幼稚園

■ 退職

2024/3/31付

- 堀 由香 (柳城 教諭)
- 澤田二三夫 (豊田 園長)

- 鈴木 愛理 (豊田 教諭)
- 児玉 文子 (三好 園長)
- 杉山 萌香 (三好 教諭)

2023/12/31付

- 中河 良紀 (豊田 教諭)
- 林 知子 (三好 教諭)

■ 採用

- 小野 隆 (豊田園長 大学と兼務)
- 浅野亜津子 (豊田 教諭)
- 伊藤 幸雄 (三好 園長)
- 中原 愛子 (三好 職員)

理事・監事・評議員

- 理事 菊地 伸二 (理事長)
- 西原 廉太
- 土井 宏純
- 宮島 義人
- 鎮旗 真弓
- 豊田 和子
- 相原 太郎
- 三枝 和也

監事

- 矢野美季恵

評議員

- 本田 直樹
- 小野 (小林) 隆
- 菊地 伸二
- 豊田 和子
- 野崎 (山本) 真琴
- 山本 里絵
- 榎戸 裕子
- 鎮旗 真弓
- 三枝 和也
- 宮島 義人
- 相原 太郎
- 土井 宏純
- 後藤 香織
- 西原 廉太
- 三浦 由美
- 小林 笑子
- 松下 幸子
- 望月 聖
- 加藤 高明
- 加藤 真人

編集後記



学院報 69 号をお届けします。

今回のテーマは「個」の充実と差別化に向けて」としましたが、なかなかハードルが高かったかもしれません。

ご承知の通り、急激な少子化がベースになって、学校間の競争が激しくなっています。それでも生き残る学校はあるわけで、そんな学校にしていくには何をすればいいかも、すでに知見として出揃っています (今回のテーマもその一つ)。要は、シガラミを絶ち、勇気をもってそれらを実行できるかどうかです。

イエス・キリストは正にそういう方でした。当時の宗教界の常識というシガラミを絶ち、勇気をもって神の愛を説き、そして実践したのです。イエスは宗教指導者らの嫉妬を買って、結局、十字架の刑に処せられ、見かけ上は敗北を喫しますが、それは大勝利へ向かっ

ての一瞬の出来事に過ぎませんでした。私たち柳城は、創設者マーガレット・ヤングを通して、このようなイエスを学び、イエスの言動を後世に伝えようとしています。

ですので、「私たち柳城は生き残れる！」と信仰上は言い切れるわけです。

私たちは今後もシガラミから解放され、勇気をもって困難に立ち向かい、栄光に向かって向上していくことでしょう。(加藤)

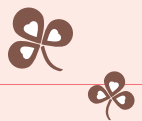
「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

【マタイ7:7】

「あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。」

【マタイ7:11】

お知らせ



本学卒業生を対象に、保育に役立つミニ講座と保育者同士の情報交換会「“りゅうじょう”で保育を語ろう会」を定期的で開催しております。本学短大・女子大HP や就職課インスタグラムにて開催のご案内をしております。卒業生の皆様のご参加をお待ちしております。
(担当教員 短大：小嶋玲子・大崎千秋 / 女子大：片山伸子)

マーガレット・ヤング基金 ご寄付のお願い

料理研究家の辰巳芳子氏（昭和19年卒）を長とする実行委員会によって、本基金が創設されたのは2011年でした。その時の趣意書には力強く、以下のように記されています。

「時代はいつも優れた保育者の養成に多くの期待をよせています。保育者養成に長い歴史と実績をもつ本学には、社会に信頼され、社会に貢献できる保育者の育成が、今後ますます期待されることです。その為にも教育環境の更なる充実は今後とも本学の課題となります。（途中省略）今後も継続的・安定的にこうした教育環境の整備や拡充、学生支援を続けるためには、経常費に左右されない、そのための基金を作り上げることがどうしても必要です。柳城学院ではこうした基金を創設者マーガレット・マジョラ・ヤングにちなみ『マーガレット・ヤング基金』として立ち上げ、その建学の精神「愛をもって仕えよ」を再確認し、広く関係の皆様へ基金への募金をお願いすることを決意致しました。長い道のりになりますが、皆様のご協力を是非よろしくお願い致します。」

それから12年の月日が経ち、多くの皆様にご賛同いただけたおかげで、マーガレット・ヤング基金は大きく成長することができました。心より感謝申し上げます。その一方で、少子化の加速によって、柳城学院の経営環境が気を引き締めるべき状況になりつつあるのも事実として、これからはますます本基金の重要性が高まるものと考えます。

私たち学院の起源であり希望の光である創設者マーガレット・ヤング。その名を冠した基金の後押しによって「優れた保育者」がこれからも本学院から輩出するように、そして、基金の存在に恥じる事が無いように、私たちは教育の質の向上に向けて、これからも精進を重ねてまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



- マーガレット・ヤング基金 延べ数等
延べ件数：912件
寄付金総額：24,389,673円

学校法人 柳城学院 理事長 菊地 伸二
名古屋柳城女子大学 学長 菊地 伸二
名古屋柳城短期大学 学長 菊地 伸二

2023年度内 収支報告

	項目	(円)	備考
収入	総額	1,078,113	(募金額) - (手数料)
支出	カナダ保育研修費用	126,000	空港移動時バスチャーター費用
残高		952,113	

※なお、2024年3月31日時点での総残高は17,238,271円

2023年度寄付者リスト（敬称略、順不同）

青山 晃江、西岡 フサ子、白倉 春子、加藤 裕子、山岸 幸子、水谷 絵里、大西 憲子、森田 千夏、加藤 明宏、竹内 清、鈴木 晃、初塚 眞喜子、長縄 年延、伊藤 秀章、青山 道、岩田 朋子、豊田 和子、安藤 香、猪瀬 満枝、重實 史子、成田 朋子、鬢柳 久美子、鈴木 裕子、藤田 法子、吉田 歌子、石野 珠子、愛知聖ルカ教会、若原 扶美江、聖アンデレ教会、他匿名希望10名

募金額 一口：3,000円（一口以上でお願いします。5,000円、10,000円でも結構です）

申込方法および払込方法 ゆうちょ銀行振替口座をご利用下さい。

加入者名：学校法人柳城学院

口座番号：00800 - 7 - 143189

- 「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、ゆうちょ銀行（郵便局）からお振込下さい。
- 同封の「払込取扱票」をご利用下さい。手数料は不要（受取人負担）です。
- 住所・氏名・電話番号・本学との関係・氏名公表の意思確認・

旧姓・卒業年度などをお知らせ下さい。

個人寄付金に対する免税の取り扱い 確定申告をされる方は、税額控除を受けることができます。所得税額より（寄付金額 - 2,000円）× 40% が控除されます。

一例：10,000円を寄付された場合、所得税額から3,200円が控除されます。

問い合わせ先

学校法人 柳城学院 法人事務局

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54

TEL 052-841-2635 FAX 052-841-2697